

高岡市教育委員会令和7年1月定例会会議録

1. 開議・閉議年月日及び場所

令和7年1月29日（水）

開会 午後1時30分

閉会 午後1時55分

高岡市役所8階803会議室

2. 教育長及び教育長職務代理者

教 育 長	近 藤	智 久
職務代理者	長 尾	順 子

3. 出席委員の氏名

1 番	藤 重 歩
2 番	長 尾 順 子
3 番	成 瀬 隆 倫
4 番	永 岩 聡
教育長	近 藤 智 久

4. 事務局出席者

教育次長	村 上 彰
教育総務課長	津 幡 佳 成
教育次長（事）学校教育課長	津 田 久
生涯学習・スポーツ課長	澤 田 剛 章
文化財保護活用課係長	佐 伯 貴 之
教育委員会参与	鳥 内 禎 久
教育センター所長	高 松 毅

5. 傍聴者

なし

6. 書記の氏名

高 山 篤 志
表 野 春 香

【議事日程】

日程第 1 前回会議録の承認（12 月定例会）

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議案第 1 号 高岡市荻布奨学金支給審査委員会委員の委嘱について

日程第 4 その他

会 議 要 旨

令和7年1月29日（水）

午後1時30分、近藤教育長が開会を宣して議事審議に入る。

〔日程第1〕 前回会議録の承認

□ 先の12月定例会の会議録について、全出席委員が確認し、これに異議がなく、会議録として承認した。

〔日程第2〕 教育長報告

【学校教育課】

- ・2月行事予定（資料No.1）
- ・令和6年度卒業式、令和7年度始業式、終業式、入学式等の期日について（資料No.2）

【生涯学習・スポーツ課】

- ・2月行事予定（資料No.3）
- ・令和7年高岡市二十歳の集いの開催結果について（資料No.4）

委 員：来年度の学校の始業式が、通常より1日後ろ送りの予定とのこと。現場としては、新学期の準備等を含め、大変ありがたいと思う。来年度以降も継続する予定はあるか。

事務局：年度替わりの様々な準備期間として1日後ろ送りとした。来年度以降もこの形で継続していく予定。

委 員：二十歳の集いについて。前回は5月に実施されており、そのときも、通常の1月開催と5月開催のどちらがよいのかという話題が上がっていたと思う。その時のアンケートでは、1月開催が良いという意見が多かったと聞いているが、今回は何か意見が出ているか。1月開催だと、大学生は短期間に2回帰省する必要があるとの声もあったと思う。

事務局：そのような声もあったが、今回の意見聴取においては、集計の途中段階ではあるが、5月開催を望む声は1割程度であり、1月開催を望む声が大半を占めている状況。

委 員：5月開催では、特に大学の運動部などにおいては、活動が入るため帰省ができないという意見がある。

事務局：また、勤務されている方にとっては、仕事が休みかどうか分からず、予定が決

まりにくいといった声も聞かれているところ。

□ 全出席委員ほかに異議がなく、報告のとおり了承した。

〔日程第3〕 議案第1号 高岡市荻布奨学金支給審査委員会委員の委嘱について

□ 全出席委員これに異議がなく、原案のとおり了承した。

〔日程第4〕 その他

委 員：他市において、サーバー内に保存してあった児童生徒へのアンケート調査の結果が閲覧できる状態にあったとの報道があった。こんなことがあるのかという印象を受けている。

事務局：本市においては、個人情報載せていない。アンケート結果などは原則紙で取り扱っている。消し跡や書き跡などから読み取れる心情もあり、一人一人に寄り添うためにも紙ベースで対応している。

委 員：いじめなどの繊細な問題を取り扱うには、普段見えないところを見ていくことが重要である。

委 員：間違い、ミスは誰にでも起こり得る。デジタル機器を活用していく際には、ダブルチェックはもちろん、可能であればシステム上の仕組みを取り入れていく必要もあると思う。

教育長：本市においては個人情報の取扱いはしっかりと行われており、例えばシステムにおける欠席連絡にしても、その理由は個人情報のため記載不要としている。

事務局：システムを用いて児童生徒の意見などを集める場合もあるが、そのフォルダは、デジタルノートブックに登録してある児童生徒、先生しか開くことができなくなっている。ミスは誰にでも起こり得るが、今回のケースで言えば、管理職や教育委員会に情報が共有されていなかったことが問題であると考えている。このことは、校長会を通じて各学校長に共有を図ったところである。

委 員：デジタルノートブックへの登録は、誰でも可能なのか。

事務局：学年やクラス単位など、デジタルノートブックへ登録可能な者は限定されており、かつ個人情報は載せていない。

教育長：所管課には、原因の分析とともに、市の運用を改めて確認するよう指示している。新年度には端末の更新が控えていることもあり、同じような事象が起こり得る可能性はあるという思いを持って、新端末においても現在の運用を確実に浸透させていく。

委 員：アタッチメントについての講演を聴く機会があった。アタッチメントとは、親が子どもを抱きしめてやるようなことだと認識していたが、講演では、それだけではなく、子どもに安心感を与えることであるとのこと。その役割は親に限

らず、学校の先生や地域の方々でもある。かと言って、現状、学校の先生にそこまでを求める時間があるとは考えにくいのかもしれないが、やはり、一人一人の子どもに寄り添っていく姿勢が大切なのだと感じた。

事務局：例えばいじめの問題に関して言えば、被害者側のケアはもちろん重要だが、行為者側のケアも同じように重要となってくる。子どもの生活時間の多くが学校である。アタッチメントの意識を持ち、子どもからの様々なサインをしっかりと受け止めていく姿勢が大切である。

☐ 他に意見はなく、了承した。

午後 1 時 55 分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。